(2) 中学校

平成 22 年度間の 30 日以上の長期欠席者数は、平成 21 年度間より 14 人（1.6%）減少の 871 人であった。全生徒数（平成 22 年度生徒数 30,448 人）に占める長期欠席者の比率は、全国（東北 3 県除く）の 3.52%より 0.66 ポイント低い 2.86%で、低い順に全国(東北 3 県除く)第 6 位（前年度：東北 3 県を除き第 6 位、全都道府県で第 7 位）であった。

理由別では「不登校」が 690 人（構成比 79.2%）で最も多く、次いで「その他」が 124 人（同 14.2%）、「病気」が 56 人（同 6.4%）、「経済的理由」が 1 人（同 0.1%）となっている。

なお、全生徒数に占める「不登校」の比率は、全国(東北 3 県除く)の 2.74%より 0.47 ポイント低い 2.27%で、低い順に全国(東北 3 県除く)第 2 位（前年度：東北 3 県を除き第 3 位、全都道府県で前年度第 4 位）であった。

表 15 理由別長期欠席者数　（単位：人）

年度間	長期欠席（３０日以上）理由				
	計	病　気	経済的理　由	不登校	その他＊
平成17	885	73	－	767	45
18	914	79	－	802	33
19	952	64	－	858	30
20	946	104	4	733	105
21	885	73	3	700	109
22	**871**	**56**	**1**	**690**	**124**

＊「その他」には、「欠席理由が 2 つ以上（「病気」と「不登校」など）あり主たる理由を特定できない者」や「保護者の無理解・無関心から欠席している者」などが含まれている。
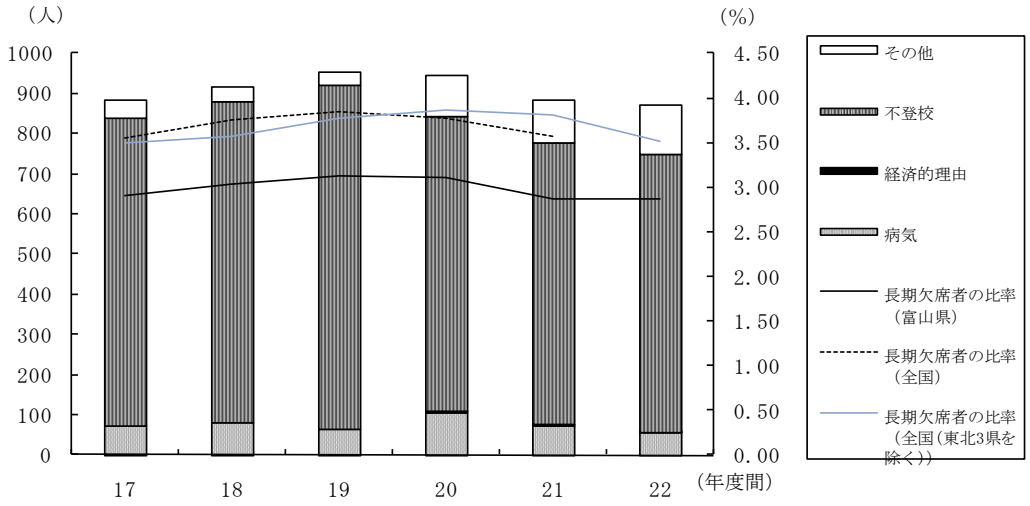
図５　理由別長期欠席者数の推移（30日以上）